

第96期 中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで



目 次

株主の皆様へ	1
Global Vision達成に向けた取り組み	3
事業トピックス	6
財務ハイライト(連結)	7
連結財務諸表	9
各事業の概況(連結)	11
グローバル行動倫理規範(COCE)	13
会社情報、株価/出来高、株式の状況	14

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第96期上半期（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の事業内容をご報告するにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当上半期の世界経済を概観しますと、米国経済は回復基調が継続している一方、欧州経済は、中国や新興国の景気減速による製造業の輸出の伸び悩みに加え、英国のEU離脱問題等により先行き不透明感が増大しています。また中国では、過剰生産能力の調整等で景気の足踏みが続いており、新興国経済においても、資源価格低迷の長期化等から景気回復が遅れています。

こうした中、わが国経済は、個人消費の伸び悩みと円高等による輸出減少の影響により、踊り場状態が継続しました。

このような環境のもと、豊田通商グループの当上半期の売上高は、円高による為替影響等により

前年同上半期を6,147億円下回る3兆6,693億円となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、主に持分法による投資利益の増加や特別損益の改善により前年同上半期対比183億円増益の420億円となり、業績は堅調に推移しています。

配当金につきましては当初の公表通り、中間配当金は1株当たり31円とし、支払開始日を11月25日とさせていただきます。

経済環境が大きく変化し、海外での事業展開が急速に拡大する中、豊田通商グループの次の10年間の方向性を示すガイドライン・道標として策定した「Global Vision」では、ありたい姿として「Be the Right ONE」をシンボルに掲げています。「Be the Right ONE」には「唯一無二となる、最適な存在になる」という意味があり、豊田通商グループは、お客様だけでなくこれからの社会にとって「Be the Right ONE」になることを目指してまいります。

8月下旬にケニアで開催された第6回アフリカ開発会議（TICAD VI）に、当社も民間企業として参加いた

Global Vision 一次の10年に向けて（2016年策定）

》Global Vision / ありたい姿

これからの10年、豊田通商グループは、



となる事を追求し続け、
実現を目指します。

The Right ONE for you

ステークホルダーの現場ニーズに応え、最適な安全・サービス / 品質・信頼を提供します

The Right ONE for us

一人ひとりの力の最大化に努め、組織・地域・性別・国籍を超えて結束し、総合力を発揮します

The Right ONE for future

我々の強みや知見を培い、発揮する事で、持続可能な社会と未来を切り拓きます

しました。資源国の経済成長鈍化はあるものの、アフリカは人口増加に伴う経済成長と中間所得層の拡大、それによる消費、内需拡大が見込まれています。当社は、事業創造はもちろん、人材育成、社会貢献を柱に「アフリカNo.1グループ」を目指し、「アフリカとともに成長する、With Africa, For Africa」という姿勢でこれからも事業展開を続けてまいります。

またエレクトロニクス分野においては、平成29年4月に子会社である株式会社トーメンエレクトロニクスと株式会社豊通エレクトロニクス、ならびに豊田通商の海外現地法人におけるエレクトロニクス事業を再編統合し、新たに株式会社ネクスティ エレクトロニクスを設立いたします。新会社は、エレクトロニクス商社の中で世界第4位、自動車向けでは世界第1位となります。世界レベルのエレクトロニクス商社として存在感を発揮できる規模と同時に、各社の強みを結集することで「品質・技術と機能による差別化」を進め、豊田通商グループの世界90カ国以上に展開する海外ネットワークを活用したグローバルな事業展開を加速してまいります。

このように当社の強み、豊田通商らしさを発揮できる分野を中心に、今後も様々な分野・地域で「Be the Right ONE」に挑戦してまいります。原点に立ち戻り、「Toyotsu Core Values」による成長の実現を目指すとともに、キャッシュ・フロー経営を徹底することで、財務体質の更なる改善も図ってまいります。

当社は経営戦略としてグローバルダイバーシティ

(多様性) & インクルージョン (受容) を推進しております。特に多様なすべての人材が生き活きと働き能力を発揮し続ける風土・職場づくりに取り組んでいます。今期は朝型勤務トライアル「Morning Win」や、組織として生産性を向上し成果をあげる「いきワプロジェクト」を全本部に展開してまいります。

当社グループをご理解いただき、ご支援くださっている株主の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

平成28年11月

取締役社長 加留部 淳

